

学校だより

令和3年12月24日発行

第2号



富山県立富山聴覚総合支援学校 富山県富山市下奥井1丁目9番56号

TEL (076)441-9172 FAX (076)441-9188

E-mail toyamachokaku@ed.pref.toyama.jp

URL <http://www.toyamat-sh.tym.ed.jp/>

創立90周年～節目の年を迎えて

教頭 出町雅子

今年度、本校は特別な年となりました。昭和6年に私立富山訓盲院の聾啞部として設置されてから創立90周年の節目の年でした。4月当初は10月予定の記念式典に向けて準備を進めていましたが、7月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画の見直しや、式典そのもの中止も考える必要が出てきました。その間「コロナ禍においても記念・記憶に残る行事にしよう」と、幼児児童生徒・教職員が一丸となって様々な企画を考えてきました。残念ながら記念式典は10月16日学習発表会の午後に規模を縮小して執り行うこととなりました。創立90周年に関わる行事については、制限のある中で幼児児童生徒たちと教員が記念すべき一年となるべく知恵を出し合っただけで次のように行いました。

「記念式典」…本校体育館で、実行委員のみの参列で行いました。高等部3年生の代表が喜びの言葉を述べました。

「記念公演」…「デフパペットシアターひとみ」による一寸法師の人形劇公演をオンラインで行いました。劇団にとっても私たちにとってもオンラインでの公演は初の試みでしたが、交流会での紙人形作りや質問コーナーで盛り上がりました。

「特別講演」…NBAプロバスケットボールの八村塁選手を育てた坂本コーチの講演を聴きました。「夢を叶える」と題して、児童生徒にチャレンジする勇気と周りへの感謝の気持ちの大切さを伝えていただきました。

「記念誌」…平成23年度から令和2年度までの10年間の本校の歴史を振り返った記念誌を作りました。その年度の記憶に残る行事等を掲載しました。

「90周年ロゴコンテスト」…幼児児童生徒から、90周年記念のロゴを募集しました。優秀作品は、記念誌や缶バッジのデザインに採用しました。

「観る校歌制作」幼児児童生徒が手話で校歌を表現している映像を、協力者の皆様と共に、新規に制作しました。学期ごとの式での校歌斉唱では、映像を見ながら手話で表現しています。

これまで教育振興会・朗和会を始め、様々な方々のご協力・アドバイスをいただきながら周年行事の準備をすすめ、無事終了することができました。90周年という本校の歴史と伝統の重みを感じつつ、次の10年～創立100周年に向けて、幼児児童生徒の未来のために日々実践を積み重ねて行くことの重要性を改めて感じさせられることとなりました。

これからも皆様方のご支援をお願いいたします。



幼稚園

<学習発表会>

10月16日、学習発表会を行いました。幼稚園では、お話に親しみ、楽しく表現することをねらいに劇遊びを行い、ももたろうの劇を発表しました。

劇遊びでは、自分の好きな役を選び、役になりきって動きを工夫し、お話の展開をたっぷりと楽しみました。また、家族やお客様達に見てもらうことを励みに、大きな声でせりふを言ったり、大きく動いたりできるようにたくさん練習しました。

当日、家族に褒めていただいたり、お客様に拍手していただいたりして、練習の成果を十分に発揮した子供たちの笑顔は、きらきらと輝いていました。



<秋の遠足>

10月21日、富山県広域消防防災センター（四季防災館）へ遠足に行きました。



消防や防災に興味・関心をもつことをねらい、保護者と一緒にいろいろな体験活動をしました。地震体験では、実際の地震を再現した揺れを体験して地震の怖さを感じたり、地震が起きたときにどうするかを考えたりしました。消火体験では、水消火器の使い方を教えてもらい、モニターの火を消しました。流水体験では、胸まである胴付長靴を履き、いろいろな深さの流水の中を歩き、歩きにくさを実感していました。



実際に災害が起きたときにどう行動したらいいかを考えるよい機会になりました。

小学部

<ICT活用>

GIGAスクール構想により、本校でも「一人一台のタブレット（ipad）」が支給され、授業や休み時間に積極的に活用しています。

児童はKeynote等の学習アプリや写真、動画を使って、お互いに教え合いながら目を輝かせて取り組んでいます。新しい歌やダンスを検索して踊る姿もよく見られるようになりました。

今後も積極的にipad等を活用して児童が主体的に楽しく学んでいけるよう、支援していきたいと考えています。



<5・6年生校外学習>

10月28日（木）、小学部5・6年生は、富山のいいところを発見すること、友達と協力して活動することをねらいとして、岩瀬方面へ校外学習に行きました。

9月に予定していた宿泊学習が中止となり、肩を落としていた児童ですが、この校外学習の企画を聞いて大喜びでした。事前学習では、富山港線を利用して行けるという条件で行き先を調べ、みんなで計画を立てました。

北前船廻船問屋「森家」では、北前船の商売や古い家屋の造りの話を興味深く聞き、富岩水上ラインでは、中島閘門で国の重要文化財である水のエレベーターを体験し、秋晴れの下、富山を満喫しました。

楽しかった校外学習の後は、それぞれの学級で学んだことを新聞やクイズにまとめてみました。



地図をみて森家へ行く



富岩水上ラインにて

中 学 部

<学習発表会>

今年度の学習発表会では、「The Quiz about TOYAMA GLASS～富山のガラスの魅力を知ろう～」をテーマに、富山の素晴らしいところを総合的な学習の時間に調べ、クイズ形式で発表しました。校外学習で「富山ガラス工房」と「富山市ガラス美術館」に行くこと



もあり、富山とガラスに関していろいろと調べ、発表しました。生徒たちは、今回発表する内容を全て覚え、手話を付けて発表しました。1つ1つのクイズに会場も盛り上がり、発表後の生徒たちは、達成感に満たされた様子でした。

<奥田中学校との交流及び共同学習>

自己理解を深めるとともに、相互理解を図ることを目的として、今年度も昨年度に引き続きオンラインでの交流活動を行いました。

本校からは、学校紹介や学習発表会で行った富山のガラスに関するクイズを行いました。

奥田中学校からは、学校紹介や奥中クイズを披露され、楽しく交流することができました。



そして、最後には「believe」を合唱しました。本校から歌詞の一部を手話で伝授し、手話を交えてともに歌いました。手話を交えて一緒に合唱できたことに交流の素晴らしさを感じられた様子でした。

高 等 部

<修学旅行>

見学や体験を通して見聞を広め、主体的に行動する態度を養うため、1泊2日の行程で修学旅行に行ってきました。YKKセンターパークや黒部峡谷など、県内を巡っているいろいろな体験をしました。生徒達の印象に残ったのが、テーブルマナーを学びながらの夕食です。普段はあまり使わないナイフとフォークを使ってフランス料理のフルコースをいただきました。「切るのが難しかった」「初めてのキャビアがおいしかった」などの感想が聞かれました。また、能作で鋳物づくり体験にも挑戦し、小皿やぐい飲みを作りました。普段の生活では味わえない体験をすることができ、学生生活の良い思い出となりました。



<学習発表会>



日頃、一生懸命に取り組んでいる専門教科の学習の成果をたくさんの方に見てもらおうと、各学科で工夫を

凝らした体験や実演を行いました。

機械科では生徒が製作した的当てや射的を、福祉・サービス科のワークショップでは、レクリエーション演習で行っているリースづくりを体験してもらいました。生徒達はやり方の説明を行ったり、呼び込みをしたりしてそれぞれの役割を果たしました。たくさんのお客様に来ていただき、生徒達からは「やって良かった」「うまく説明ができた」などの感想が聞かれました。



北陸地区聾教育研究連絡会

北陸地区聾学校相互の連絡を密にし教育に関する諸研究を推進し聾教育の向上発展を図ることを目的とする研究連絡会が、本校を主管として8月3日に開催されました。

コロナ感染症拡大防止のためにオンライン開催となったことで、本校では教員全員が参加、他校でも従来よりも多くの先生方が参加され、活発な意見交換を行うことができました。また、本校の各学部の紹介を動画配信で見ていただき、各校から「少人数ならではの幼児児童生徒同士でのやりとりへの工夫が印象的だ」

「ICT活用の様子が参考になった」
「高等部の作業は専門的な内容が多く素晴らしい」等多くの感想が寄せられ、次年度の研究大会への励みとなりました。



校内読書週間

新刊図書が届きました。児童生徒が希望した本をたくさん購入、寄贈していただきました。図書委員の児童生徒たちは、新しい本を並べながら、「貸出はいつからですか」「一人何冊まで借りられますか」という言葉が飛び交っていました。



図書委員会では、図書の貸出に向けて「スタンプラリーをやろう」「たくさん借りた人に賞を作ろう」と活発な意見が出されました。



部活動

「第65回北陸地区聾学校親善体育大会 高岡大会 7/29～30」

2年ぶりに行われた北陸地区大会。結果は、一部男子団体戦3位、一部女子団体戦2位となりました。

個人戦では、一部男子3位、一部女子2位、2部男子優勝の成績を収め、女子団体ならびに個人3名が全国大会出場権を獲得しました。しかし、全国大会は残念ながら中止となりました。



「高校県秋季大会 10/23」「富山県障害者スポーツ大会卓球競技 11/7」

数少ない大会の場でしたが、参加した全員が今までの練習の成果を発揮することができました。



外部表彰・検定合格者

<富山市ファミリーパーク動物写真コンクール>

入選 幼稚部2年 瀧上 楓

<第66回ビジネス文書実務検定>

速度部門1級 高等部3年 松本 悠雅

<第65回北陸地区聾学校親善体育大会> 一部男子団体戦 3位、一部女子団体戦 準優勝

一部男子個人戦 3位 高等部3年 葡萄原 祐也、高等部1年 森元 陸樹

一部女子個人戦 準優勝 高等部1年 堺 琉莉

二部男子個人戦 優勝 専攻科1年 程塚 麗矢、3位 専攻科1年 高坂 篤季

<とやまアビリンピック2021> パソコンデータ入力部門 銅賞 高等部3年 松本 悠雅

喫茶・サービス部門A部門 銅賞 高等部3年 寺島 翼

<第21回富山県障害者スポーツ大会卓球競技> 2位 高等部1年 堺 琉莉、西島 拓郎